



A.A.M.T

秋臨技

だより

第86号

第 86 号

発行所
〒010-0013 秋田市南通築地 1-1
ファーストワン築地 2A
TEL・FAX:018(825)2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
出秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 佐藤 寛
編集主幹 佐藤 義暢
印刷所 石岡印刷所
電話 018(884)4771

秋臨技の一年を振り返って

(社) 秋田県臨床検査技師会

会長 佐藤 寛

昨年の5月から阿部毅前会長から引継ぎましたが、各種行事に追われてあっという間に今年度が終わろうとしています。ここで平成23年度の技師会活動について5点ほど述べたいと思います。

1. 昨年の11月21日、監事を約10年間引き受けて頂きました秋田市市議員の長谷川昭一様
が急逝致しました。毎年の総会で会務や事業について適格なアドバイスをたくさん頂きました。監
事のバトンを佐藤宏悦様へ渡してこれから思う存分自由に動けるという時でした。ただただ、ご冥
福をお祈りするしかありません。

2. 東日本大震災の復興支援で岩手県技師会から応援要請があり、9月24日と25日の2日間大
槌町と釜石市に8名の会員が支援活動に参加しました。下肢静脈エコーの実施が主な内容で、仮設
住宅数ヶ所をバスでまわりそこで暮らす被災者の方々の検診を行うかたちです。早朝からの移動と
深夜の帰宅になり、参加して頂きました会員の方々には大変なご難儀をおかけしました。

3. 県学会が10月22日に県南支部の担当で横手市において開催されました。多くの会員や賛助
会員の方々に参加して頂き、一般演題の発表も21題ありました。発表後の質疑応答はとても活発
で、秋田県技師会の力を感じました。運営の先頭に立って頂きました武石実行委員長、由利学会事
務局長のがんばりに感謝致します。

4. 秋田県臨床検査技師会創立60周年の記念事業を12月3日に秋田キャッスルホテルで記念講
演会と祝賀会の2部構成で行いました。記念講演会は秋田組合総合病院の桑原直行先生から「大規
模震災時の医療活動」と題したお話しをして頂き、祝賀会は歴代会長の参加も頂き92名の参加と
なりました。今後の技師会発展を誓う会となりました。

5. 部門長が交代致します。今回辞任するのは長谷川拓也さん、田山明義さん、松橋博之さん、二
部琴美さん、関谷智理さんの5名です。秋臨技の「要」である学術部門をリードして頂きました。
ありがとうございました。

最後に、3月17日の総会において平成24年度の事業計画案と予算案につきまして承認を頂き
ました。残りの1年の任期も執行部一同会員の皆様のためのがんばりますので、よろしく願い致
します。

第35回秋田県医学検査学会の報告

県南支部担当第35回秋田県医学検査学会

実行委員長 武石茂美
(平鹿総合病院)

平成 23 年 10 月 22 日(土)横手セントラルホテルを会場に、県南支部の担当で開催されました。

一般演題は 21 題で、活発な質疑応答が行われました。

公開講演は 2 題で、I は「秋田県の地震活動について～その長期評価～」と題して秋田地方気象台 豊間根正志先生に活断層と海溝型地震の長期評価などの基礎知識と今後の予想をお話いただきました。II は東北電力(株)横手営業所 玉手忠明先生、石川真紀子先生のお二人から「暮らしの中の電気～東日本大震災の影響～」と題して、電気はどのようにして各家庭、各会社に届くのか、なぜ停電は起こりどう復旧するのかといった基礎的な事から、夏場そして冬場の電力の供給需要状況の見通しや節電方法など教えていただきました。

シンポジウムは「東日本大震災その時」をテーマとし、震災当日の状況等のアンケート調査の結果をもとに、被害状況や今後の対策等シンポジストの方々から発表して頂きました。平成 16 年以來の県南地区での開催でしたので、演題数や参加会員数など予想できず不安だったのですが、21 題の演題、200 名を超える会員の参加により無事終えることができました。



■活発な質疑応答が行われた学会発表



■大会会長のご挨拶

第35回秋田県医学検査学会で各賞を受賞された方のお名前

学会学術賞

大館市立総合病院 | 佐藤 謙太郎 技師

学会デビュー賞

秋田大学医学部附属病院	安 保 康太郎 技師	井 上 緑 技師
	田 村 明日美 技師	伊 藤 祐 希 技師
平 鹿 総 合 病 院	石 垣 浩 子 技師	佐々木 あずさ 技師
	山 中 京 子 技師	
由 利 組 合 総 合 病 院	中 田 ゆかり 技師	佐 藤 友 美 技師
市 立 角 館 総 合 病 院	細 川 翔 技師	
秋田県総合保健事業団 見桜検査センター	山 内 正 子 技師	
秋田県健康環境センター	柴 田 ちひろ 技師	
秋 田 赤 十 字 病 院	滝 吉 唯 技師	

審査員特別賞

秋田県健康環境センター | 柴 田 ちひろ 技師



■情報交換会の様子



社団法人 秋田県臨床検査技師会 創立 60 周年記念事業開催される

秋田県臨床検査技師会創立 60 周年の記念事業が 12 月 3 日 (土) 秋田キャッスルホテルで開催されました。

記念事業は記念講演会と祝賀会の 2 部構成で行われ、一般公開された記念講演では、秋田県 DMAT (災害派遣医療チーム) に所属する秋田組合総合病院の桑原直行先生から「大規模災害時の医療活動」について、先生の出身地でもある新潟県で発生した新潟中越地震での活動も交え今回の東日本大震災での DMAT の活動について講演して頂きました。

祝賀会には、歴代の会長さんはじめ賛助会員の皆さんを含め 92 名の参加を得て終止なごやかに 60 周年を喜び合いました。

ご参加くださいました諸先輩、会員の皆さんありがとうございました。



■桑原直行先生の記念講演



■阿部名誉会長のご挨拶



■斎藤名誉会長の乾杯



■瀧澤名誉会長のスピーチ



■阿部前会長の思い出の写真



■阿部前会長の思い出の写真



■会場の様子

■菊地名誉会長による締めのご挨拶



■会場の様子



■会場の様子

第36回秋田県医学検査学会担当 県北支部からのお知らせ

日時：平成24年11月3日(土) 会場：大館市有浦 プラザ杉の子

- 内容： ①一般演題 20題前後を予定
②ランチョンセミナー
③症例検討会
④市民公開講演
⑤情報交換会

●学会役員

学 会 長：佐藤 寛
副 会 長：太田 和子
総括責任者：清水 盛也
学会実行委員長：川上 登
副実行委員長：阿部 雄大
事務局 長：市川 聡



現在まで、実行委員会を3回程開催しています。

テーマ・公開講演講師・健康と臨床検査展・職業紹介等は実行委員会で検討中です。人との繋がり・絆を考え、地域に密着した大館県学会にしたいと思っています。

平成23年度 社団法人秋田県臨床検査技師会 第2回通常総会の報告

平成 24 年 3 月 17 日 土曜日「秋田県生涯学習センター」に於いて平成 23 年度第 2 回通常総会が開催されました。総会では平成 24 年度の事業計画案や予算案などの案件が承認されました。また、平成 25 年度に予定されている新公益法人への移行にあたって、県北・中央・由利・県南の 4 支部が一体となって移行することが提案され、支部独自の会計運用は法規上認められなくなるものの支部の体制を維持しながら秋臨技と支部が協力して一体となって活動していくことが確認されました。

また、総会では平成 24・25 年度の新学術部門長が報告されました。

生物化学分析検査部門長	佐藤 尚之 (学術部長兼任)	仙北組合総合病院
生理機能検査部門長	渡部 多佳子 (留任)	秋田赤十字病院
病理検査部門長	藤嶋 正人	山本組合総合病院
一般検査部門長	貝田 奈津子 (留任)	市立秋田総合病院
血液検査部門長	島田 幸栄	秋田赤十字病院
感染制御部門長	小林 則子 (留任)	秋田大学医学部附属病院
輸血移植検査部門長	林崎 久美子	仙北組合総合病院
検査総合管理部門長	未 定	

編集後記



季節は春がやっと近づいて、春らしい日も少しずつ増えてきたところですが、真冬のような天気にもどってみたいり恐ろしい強風が吹いてみたいり、いったい近頃の気候はどうなっているのでしょうか。人間は自然の力にかないませんね。私ごとながら今年の年明けから年度末にかけては、この冬の天気にも負けないくらい凄まじく忙しかったのです。電子カルテの導入、怖いですね。システムの委員会、怖いですね。人間の本性がもろ出ますね。自然も怖いですが人間も怖いですね。